

平成28年度学校評価報告書

平成29年 3月27日

北海道教育委員会教育長 様

北海道小樽潮陵高等学校長 印

次のとおり平成28年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 多様な生徒に対応した懇切丁寧な指導を行い、教科・学年・学校全体が連携して生徒の学力向上を図る。
- (2) 生徒の進路実現のために全力で支援するとともに、医進類型の充実や大学との連携によって、高い進路意識を持った生徒を育てる。
- (3) 部活動・生徒会行事・諸活動を通して、生徒が生き生きとした学校生活が送れるように支援するとともに、生徒の自主性、創造性、協調性などを育む。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の充実を図るとともに、講習・添削指導等を通して日常的に各教科で個別指導の強化に努めた。 ・個々の生徒について情報交換を密接に行い、生徒個々の状況理解を深めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進度に応じた指導がなされている。 ・研修、シラバス活用の項目で毎年平均値が低いので、強化してはどうか。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・HR・教科担任の緊密な連携と情報交換を図り、生徒のニーズに対応した学習指導の工夫に努める。校内研修を充実させ、より効果的な取組みを図る。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な進路指導を実践することができたが、さらにインターンシップを充実させ勤労観の育成につなげていきたい。 ・外部の人材を活用し、生徒の視野を広げることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の希望を最大限に顧慮した指導が行われている。 ・医学部だけでなく、多種多様な大学の情報提供にも対応して欲しい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な志望を持つ生徒に対して適切な情報提供を図るとともに、外部の人材の一層の活用を進め、職業観の育成に努める。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動や部活動等において、生徒の自主的な活動を促し、成就感を得させることができた。 ・日常の生徒観察や情報共有によって、生徒指導事故の未然防止に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実情に即した指導が行われている。 ・定時制において、生徒の部活動での満足感が例年低いので対策が必要である。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の生徒理解に努めるための個人面談等を行って情報の共有を推進するとともに、規律ある生活指導を進める。 ・定時制においては、時間的な制約はあるが部活動への参加を促していく。 	
保健・安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が安心して学校生活を送ることができ環境整備に努めた。 ・スクールカウンセラーを活用した教育相談を実施し、生徒理解を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康管理について、連携が十分に図られている。 ・心身ともに健康が第一なので安心・安全である学校であってほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーや外部機関と職員間での連携を一層密にして生徒理解を深め、幅広い観点から生徒を支える体制を整備する。 	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA通信 ・WEBページ ・PTA役員会等各種会合 ・入卒式等における公表 	

3 添付資料

- (1) 平成28年度学校評価集計結果（教職員・学校評議員） 2部
- (2) 平成28年度保護者・生徒によるアンケート集計結果 2部
- (3) 平成28年度学校評議員による学校評価 2部